



9月19日、20日の2日間、いきいき深山郷のどか村周辺で「しらたか工芸体験まつり」が開催されました。

会場では、紅花染めや陶芸をはじめとする各種体験コーナー、川魚のつかみ取りなどのイベントが催され、親子連れなどでにぎわいました。

澄んだ空気とたわわに実った稲穂、目の前に見える西山など、深山独特の景観と地元のかたがた中心の手作りによるおまつりということ、会場内はアットホームな雰囲気包まれていました。

うさぎや子牛などのかわいい動物も会場をよりいっそう和やかにしていました。



工芸体験まつりに、愛媛県内子町から助っ人がいらつしやいました。今回おいでいただいたのは、内子町の石畳地区で企業組合によるそば処「石畳むら」代表の亀田強さんをはじめとする4人。

亀田さんは、3年前にそば打ち研修のために深山を訪れ、昨年2月に内子町にそば処「石畳むら」をオープン。うどんが絶対的人気を誇る四国の地で、「出羽かおり」を栽培し、100軒地元産の粉をつかったこだわりのそば屋として営業されているということです。今回の工芸体験まつりも、そば打ちの助っ人として

## しらたか工芸体験まつり

つごんの里(愛媛県)のそば職人も来町!



内子町のそば職人(亀田強さん)

「前はこっちが指導者だったけど、今では立場逆転して亀田さんが俺らの師匠だよ」と、深山のかたが口をそろえて言うほどの腕前。まつりでは、深山と内子町のそば職人によるおいしいそばが提供されました。

そのほか、今回訪問されたかたに、水車づくりやイベントの進めかたなどを指導していただきました。

深山地区と内子町の交流は、平成12年ころ、東北芸術工科大学の先生による紹介がきっかけで、以降、それぞれお互いの地を訪れ交流を深めており、今後も活発な交流が展開されるようです。

## 熊の出没にご注意ください!

10月に入り町内各地で熊が出没しております。なかには民家近くまで出没する熊もあります。住民の皆さんは次の事に注意して熊との遭遇を防ぎましょう。

なお、熊を目撃したら産業振興課農村整備係にご連絡ください。

### ※熊に出あわないために、次のことにご注意ください

- 早朝、夜に外を歩くときは、鈴やラジオなど、音の出るものを携帯し、自分の存在を周囲に知らせましょう。不意の遭遇を避けることが簡単で最も効果的な対策です。
- 生ごみを屋外に置くと、熊を呼び寄せることになりますので、屋外には置かないでください。
- 子熊のそばには必ず親熊がいます。かわいいと思っても、決してそばに寄らないでください。

- 山林と人里の境界である林縁部の「やぶ」や「繁み」は、熊が体を隠しながら移動するのに格好の場所となります。刈り払いをするなどして、やぶや繁みを減らしましょう。

- 農作業の前には熊は潜んでいるかもしれないという意識を常に持ち周囲を確認したり、車のクラクションを鳴らすなどの対策をしてから作業に従事しましょう。

### ※それでももし熊に遭遇したら

- あわてず、騒がず熊を刺激しない。
- 急に立ち上がったたり、物を投げつけたり、背中を見せて走って逃げたりしない(逃げると本能的に追いかけてきます)。
- 熊の動きを見ながらゆっくり後退する。

### ■連絡先

産業振興課農村整備係 (☎85-6125)